

ぬまじ憲法9条の会

安全保障関連法（安保法）8年 米の戦争と一体か

沖繩は戦争前夜

新聞報道の見出しによれば、

・沖繩・先島に「有事シエ
ルター」 上陸侵攻やミ
サイル攻撃想定
政府指針「2週間程度滞
在」

・地対艦部隊が発足 沖
繩本島で初 陸自分屯
地と掲載されています。

軍事費増大

・防衛費膨張へ拍車
・兵器ローン膨張の恐れ
・軍事力強化 予算面歯止
め弱まる

・在日米軍経費過去最大
23年度8522億円

米軍の指揮下に

・自衛隊を指揮下に、在日
米軍司令部を再編。イン

ド太平洋軍の機能移転案
・有事利用16空港・港指
定

平和憲法違反の数々

・次期戦闘機輸出解禁を閣
議決定
・「歯止め」装い国会無視
・戦闘機輸出は「国益」首
相明言
・防衛装備輸出「全面解禁
に」
・人権侵害・憲法違反の
「経済秘密保護法案」

岸田政権を退陣へ

安保法が施行されても、
継続して廃止を求めて運動
は続いています。市民連合
と野党共闘・世論の力を結
集して、自公政権を退陣に
追い込みましょう。

218号

2024年
4月1日発行

事務局
神田健夫

055-921-7755

2024年・意見広告

① 掲載期日 2024年

5月3日の憲法記念日
「朝日・中日新聞（西部地
域）朝刊に掲載 ・県内
版1面15段」 但し、掲
載日は新聞社の都合で変更に
なる場合もあります。

② 主催団体 「静岡県

意見広告参加9条の会」

③ 賛同者氏名掲載料金

1口500円

④ 賛同者目標 朝日・中

日新聞（西部地域は朝日
と中日新聞に掲載）

⑤ 目標5500名以上

（昨年5195名でした）

⑥ 募集期間4月14日まで

戦争前夜の日本

「日本が戦場になる」と
新聞報道されても知らない
人も多いです。知っていて
も、だから軍備を増強し抑
止力を高めれば大丈夫と。
岸田自公政権は、改憲す
る前に、憲法違反の専守防
衛から敵基地攻撃（反撃能
力）へ大変換し、軍拡をど
んどん進めています。日本
を戦場にさせないために、
「平和外交」で戦争を回避
させましょう。

平和憲法を守る声を

私たち静岡県内の有志
「9条の会」は、13年前
から力を合わせ「新聞意見
広告」で、県民の皆さんに
日本国憲法を守り、活かそ
うと訴えてきました。

今年も県内全域を対象
に取組みます。憲法を守る
うという一人でも多くのみ
なさんが、この取り組みに
賛同し、ご支援下さるよう
お願いします。あなたのお
名前を新聞に掲載して下さ
い。

日本を戦場にするな

戦争させない 憲法壊すな

沼津の会」主催

日時4月20日(土)

13時30分〜

会場 沼津中央公園

集会・スタンディング

○敵基地攻撃能力の保有は、

日本が戦場への道

○9条改憲許さない

○イスラエルとパレスチナは即時停戦し、

双方の国民の命を奪うな

○ロシアはウクライナ侵略を止め

即時撤退

雨天中止

土曜日・駅頭

スタンディング

場所：JR沼津駅南口

井上靖記念碑前

時間 13時30分〜14時15分

毎週土曜日

プラカードを持って立つても、腰

掛けても参加出来ます。

雨天中止

あなたの思いを

行動に

「汚れた手で憲法を触るな！」 改憲手続きの進行、 戦争する国づくり の企てを許さない 市民の行動を！

いま、国会では、自民党の政治に骨がらみの金権腐敗の構造が暴露・追及されています。

しかし、その一方で岸田政権は、首相が公約として繰り返してきた「任期中の改憲」に固執し、予算案の衆院通過を待つて憲法審査会を動かそうという意図を断念していません。

また、昨年度をさらに上回る大軍拡予算案に加え、経済情報にも秘密の網をかけようという重要経済安保情報保護法案の閣議決定、また、共同開発した戦闘機の第三国への輸出解禁など、安保3文書に基づく「戦争する国」づくりを進めようとしています。こうした情勢を踏まえ、九条の会は、

去る2月22日、総がかり行動実行委員会と共催で、「憲法審査会は、今！」と題する緊急院内集会を開き、会場をいっぱいにした市民とともに改憲手続きの強行を許さない市民の行動の重要性を確認しました。

この集会を梃子に、改憲原案づくりのための作業部会の設置をはじめとした改憲法審査会を舞台にした改憲手続きの強行に反対し、「戦争する国」づくりのための悪法を通さないため、市民の声を国会の外からあげていきましょう。
(9条の会ニュース452号2024・2・29)

「九条の会ブックレット」を活用し、岸田改憲阻止の学習と行動に立ち上がりましょう！

岸田首相は、自民党裏金問題で支持率が最低で推移しているにもかかわらず、任期中の改憲に固執しています。しかし、無理に無理

を重ねている改憲は、市民の声と行動で阻まねばなりませんし、挫折に追い込むことは可能です。

岸田政権を倒して改憲をストップさせましょう！九条の会は、さる2月22日、総がかり行動実行委員会と共催で、院内緊急集会を開き、その発言を、緊急に『改憲、軍拡と憲法審査会』と題するブックレットにしました。

ブックレットには、安倍政権以来の憲法破壊と憲法審査会を舞台にした改憲策動についての浅倉むつ子さんと高田健さんのスピーチに加え、立憲野党の国会議員の発言、連帯の発言も収録されています。

ぜひ、このブックレットを活用し、岸田軍拡と共に明文改憲の危険性を学習し、改憲反対世論を盛り上げる行動に立ち上がりましょう。

改憲、軍拡と憲法審査会
500円
事務局・神田まで
☎055192117755

ちよつと良いニュース

*車使用で生活保護 停止を取り消し

- ・ 鈴鹿市生活保護裁判
- ・ 鈴鹿津地裁が賠償命令判決
- ・ 日常生活の車使用認める。
- ・ 車は生活に必要な 全国に影響

*中絶の自由、 フランスが憲法に明記

- ・ 仏議会は、女性の人工妊娠中絶の自由を明記する憲法改正案を可決した。
- ・ フランスでは今でも中絶は合法だが、憲法への明記で確実に女性の権利を保護する。妊娠中絶の自由を明記する
- ・ 世界初「歴史的な日」歓迎の声

*同性婚否認は違憲

- ・ 同性カップルの結婚を認めない民法などの規定は

憲法に違反すると訴えた集団訴訟で、札幌高裁は、「婚姻は両性の合意のみに基づいて成立する」と定めた憲法24条1項は「同性婚も保障すると理解できる」との初判断を示し、民法や戸籍法の関連規定を違憲とした。

*同性パートナーも 「遺族」

同性パートナーが、犯罪被害者等給付金支給法（犯給法）に基づく遺族給付を受けられるかが争われた訴訟の上告審判決で、最高裁第三小法廷（林道晴裁判長）は、「同性パートナーも支給対象になりうる」との判断を示した。「支給対象にならない」とした二審・名古屋高裁の判決を破棄し、審理を高裁に差し戻した。
・ 今回の原告が支給対象になるかが改めて審理される。

